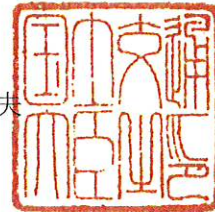


# 認定書

国住参建第 2330 号  
令和 5 年 12 月 8 日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-1255
2. 認定をした構造方法等の名称  
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん  
／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ93mm以下)
	面積	0.00709m <sup>2</sup> 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		3～10mm
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		85.4%以下
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分) 又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分) 厚さ 75mm以上

3. 構成材料の仕様 :

構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 構成材料の仕様

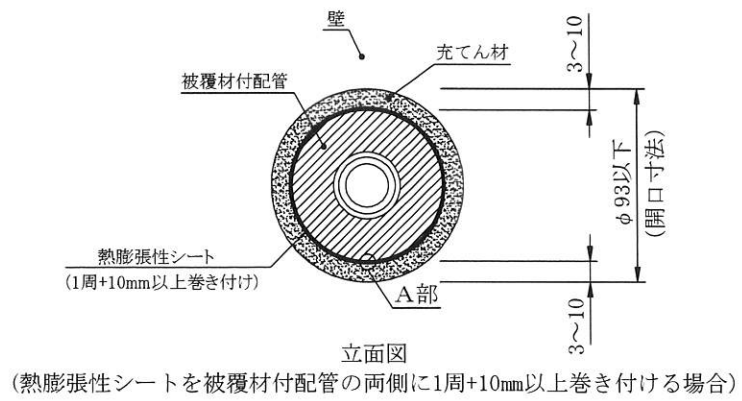
項目		仕様		
熱膨張性 シート	材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート		
	寸法	総厚さ : 1mm以上 幅 : 50mm以上 (埋設部25mm以上、露出部25mm以上) ただし、裏面材は露出部側に10mm以下伸ばしてもよい		
	使用箇所	被覆材付配管の両側に1周+10mm以上巻き付け		
	表面材 (充てん材側)	仕様	仕様 : あり又はなし ①~③の一	
		材料	①ポリオレフィン系繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ ③ガラス繊維強化アルミニウム系テープ	
	シート	厚さ		
		材料	黒鉛含有ブチルゴムシート	
		厚さ	1mm以上	
		組成 (質量%)		
	裏面材 (配管側)	仕様	仕様 : あり又はなし ①~③の一	
材料		①ポリオレフィン系-ポリエステル系積層フィルム ②ポリエステル系フィルム ③ナイロン系フィルム		
充てん材	厚さ			
	材料	建築用シーリング材 (JIS A 5758) 種類 : シリコン系		
	充てん量	隙間に密に充てん (壁の両側に22mm以上)		

表3 配管の仕様

項目		仕様		
配管 (給水管・排水管)	架橋ポリエチレン2層管	外径	φ 27mm 以下	3.25mm以下
	酸素透過防止層付架橋ポリエチレン管			φ 27mm 以下
被覆材 (あり又はなし)	発泡ポリエチレン系	φ 73mm 以下 (仕上り外径)	外径	厚さ 20mm以下
	発泡架橋ポリエチレン系			
	発泡ポリウレタン系			
	発泡ポリスチレン系			
	発泡ポリプロピレン系			
	発泡フェノール系			
	発泡難燃ポリオレフィン系 (酸素指数28以上)			
	グラスウール (JIS A 9504)			
	ロックウール (JIS A 9504)			
発泡合成ゴム系 (ニトリル、ブチルゴム)				

4. 構造説明図：  
 構造説明図を図1～図3に示す。

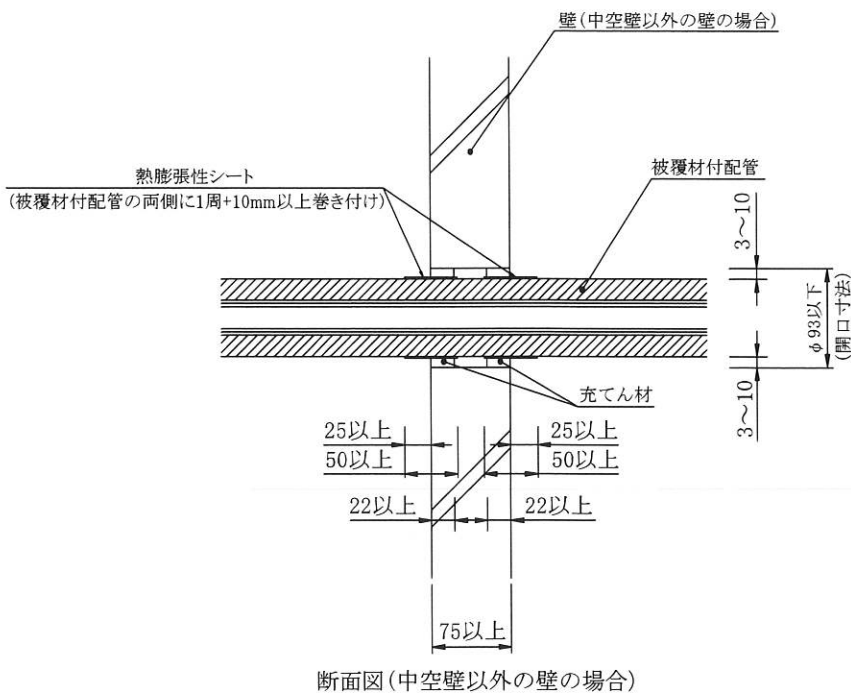
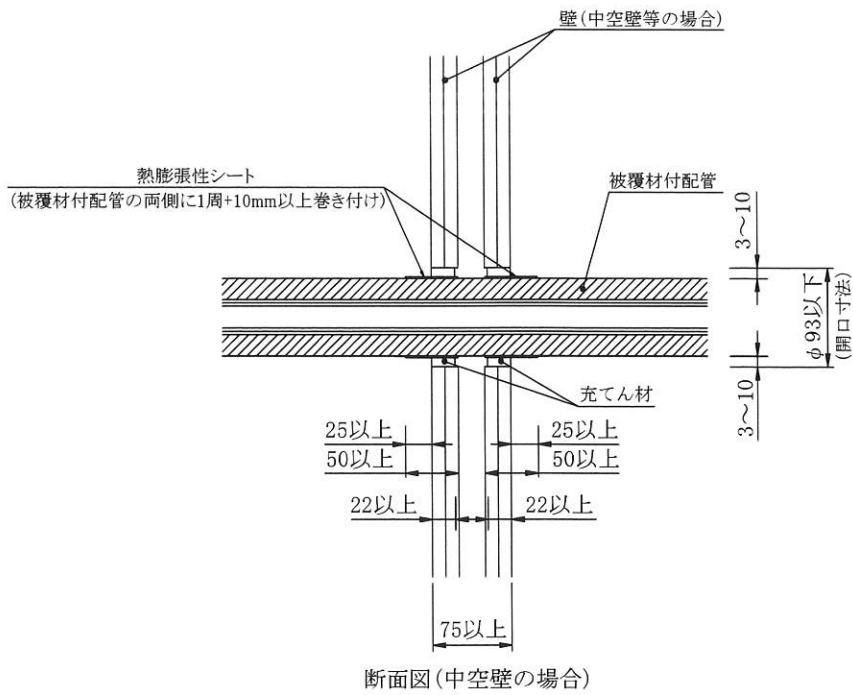
単位 mm



注) 被覆材(あり又はなし)付配管の配置の一例を示す

図1 構造説明図(施工図)

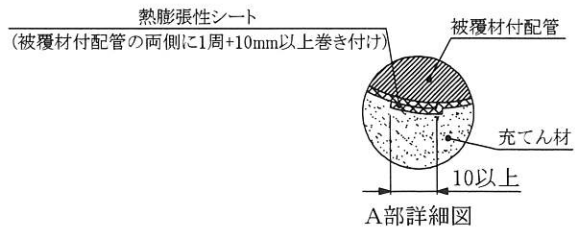
単位 mm



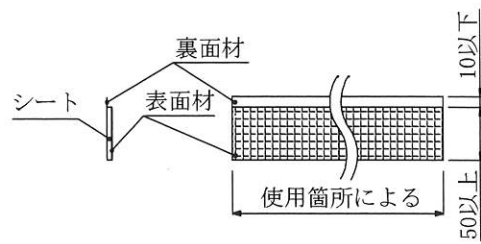
注) 被覆材(あり又はなし)付配管の配置の一例を示す

図2 構造説明図(施工図)

単位 mm



熱膨張性シートの重なり部詳細



熱膨張性シートの詳細図

図3 構造説明図(施工図)

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定  
ボイド管やコアドリル等を用いて貫通孔を設ける。
- (2) 配管等の設置  
配管等サイズ、本数及び占積率を考慮して貫通開口部に、配管等を設置して支持・固定する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け  
熱膨張性シートを配管に対して両側1周+10mm以上巻き付けて裏面材を破りシート部を張付けて固定する。この時、熱膨張性シートと配管との間に隙間がないように注意し確認する。
- (4) 熱膨張性シートのスライド  
熱膨張性シートを配管に沿わせて熱膨張性シートが区画内に25mm以上埋設し、露出が25mm以上になるようにスライドさせる。
- (5) 埋め戻し  
貫通開口部と熱膨張性シートの隙間に、壁厚方向22mm以上充てん材で埋め戻しする。  
埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。